

二〇一六年一〇月三日 開催

## 朝鮮学校ではどのような教育が行われているのか

— 民族教育と地域共生の取り組みについて

金 有燮（キンユソプ）

■ 講演者……金 有燮（千葉朝鮮初中級学校校長）

■ 司 会……林 史樹（本学アジア言語学科韓国語専

攻教授）

### 一、ウリハッキョとは？

私たちは普段、朝鮮学校の事を「ウリハッキョ」と呼びます。日本語に直訳すると「ウリ」は「私たちのく」、「ハッキョ」は「学校」となります。とても大きな愛情を込めてそう呼ぶのです。

千葉の朝鮮学校は一九四六年九月一三日に創立されました。在日一世が植民地から解放された直後、文字通り何も無い時代に彼らは子供たちに母国語を学ばせるため自力で学校を作ったのです。校舎から教科書まですべて手作りでありました。なのでここは私たちの祖父、祖母たちの魂がこもった特別に大切な場所なのです。同胞たちの故郷は朝鮮半島であり

ますが、それでもやはり心のふるさととは「ウリハッキョ」なのです。その意味では普通の日本の方々が思い描く「母校」の感覚とは、少し違うのかもしれませんが。

千葉に転勤してきた三年前の事。近くの日本学校へあいさつに行くと、その校長が私にこう言われました。「先生は日本語が上手ですね。」と。私が「朝鮮学校は在日朝鮮人の学校であり、私は在日の三世です。」と言うととても驚かれました。

このように日本社会で朝鮮学校の存在を知らない人は思いのほか多いのが現状です。一般的な日本の方々の中で朝鮮学校について肯定的な人が一割、否定的な人が一割、その他八割は知らないのではないのでしょうか。そしてその八割がマスコミ報道によって何も本質を知らないまま、否定的な感情だけを持ってしまっているというのが現状なのではないでしょうか。



金 有燮氏



司会の林先生

## (1) 歴史的経緯

一九四五年祖国解放当時、在日朝鮮人は二〇〇万人以上いました。その後多くの同胞たちは故郷である朝鮮半島へ帰り、約六〇万人の在日朝鮮人が日本に残りました。そして彼らは、子供たちを異国の地にあつても立派な朝鮮人へと育てるために学校を作りしました。当時その数は五〇〇校、生徒数は五万人を超えたと言います。その時はあくまで〈帰国〉を前提とした教育でありました。

## (2) 現在

しかし現在、在日三世、四世の中に帰国を前提に朝鮮学校へ送る父母はいません。みな日本での永住が前提となっています。そして教師はほとんどが三世であり、子供たちは四世であります。在日の三世が四世に民族の魂を教えているのが今日の朝鮮学校なのです。

朝鮮学校はいま全国で六四校あり、生徒数は約八〇〇〇人です。

## 二、特徴

### (1) 民族教育

#### ・朝鮮民族学校

朝鮮学校の特徴の一つは、〈民族教育〉そのものにあります。

その意味では〈朝鮮民族学校〉とも言えるでしょう。近頃は国際化やグローバルイズムなどの流れの中、朝鮮学校もそのようにならなくては競争に勝てない、というような意見も聞かれます。しかしそんな時代であっても我々は、あくまで〈民族教育〉にこだわっています。学校の生徒は、どのような国際交流の場でもチマチョゴリを着て朝鮮の歌や踊りを堂々と演ずることが出来ます。国際化すればするほど、自分は何者なのかというアイデンティティが求められるのです。そう、民族的なものほど国際的なものなのです。

#### ・言語教育

もう一つ、民族教育の大切な要素は〈言語教育〉です。朝鮮学校では全て朝鮮語で教育が行われ、校内では朝鮮語で会話を行います。皆、日本で生まれ育っているので当然、小学校一年生は日本語しかできません。しかしたったの一年間でほぼすべて会話はマスターし、二年生の会話はすべて朝鮮語です。この他言語の習得のスピードや教育方法には、言語学者たちも注目するほどです。そこには朝鮮語を朝鮮語で教える伝統的な独自の方法が採用されているのです。

何より我々にとって言語教育は、言葉を通して民族の魂を教えるというところに最大の意味があります。そのとき言葉はまさに〈言霊〉として我々の前に存在するのです。

#### ・文化教育

上記と同じ理由で、朝鮮学校では文化芸術教育にとっても力をいれています。子供たちの芸術公演を見て日本の方々はびっくりされます。全員が朝鮮の歌や踊り、民族楽器を見事にたしなむのです。やはりこれも民族の心、魂を育てたい一心からなのです。

### (2) 集団主義教育

朝鮮学校の教育の特徴のもう一つの面は〈集団主義教育〉にあります。これをいうとすぐに《北朝鮮》式の全体主義として認識されがちなのですが、それはあまりに一面的な見方でありましょう。在日は異国の地で多くの差別の中、同胞たちどうし助け合い、相互扶助の中で生きてきました。その風土が朝鮮学校教育には今でも生きています。政府や自治体から何ら補助もない中、朝鮮学校が七〇年間、一世から四世まで続けて来られたのもモットーである（一人はみんなのため、みんなは一人のため）その考え方が根本にあつたからです。

### (3) 日朝親善教育、統一教育

#### ・反日教育？ 共産主義教育？

朝鮮学校では反日教育や共産主義教育が行われているので



創立 70 周年記念芸術発表会の DVD が講演会参加者にプレゼントされた

けしからんと言われているようですが、本当にそのような教育をする学校に、これからも日本で永住していこうとする親たちが入れるでしょうか。ありえない話です。朝鮮学校は閉鎖的だとも言われているようですが、学校公開、授業公開を年に何度も行っているので一度見に来てほしいと思います。我々は日朝親善教育、統一教育を積極的に行っています。

何よりそのような教育を行ってほしいというのが同胞たちの希望でもあり、その要求に対し積極的に応じていかなくては

は学校が成り立つわけがありません。そしてそのような教育をしたいというのは、まさしく私たち教員の希望でもあります。年間を通して、日朝親善行事、地域交流行事は目白押しです。

統一教育についてわかりやすい例で端的に言いますと、運動会の時に掲げる国旗は北でも南でもなく統一旗です。

#### ・複眼的視点

このような教育が結果的には、生徒たちに複眼的視点を持たせ、他人の気持ちを思いやることのできるしっかりとした優しい人間を育てる教育へとつながっていると感じています。

### 三、実態（危機的状況）

#### (1) 生徒数

現在の生徒数は七四人ですが、二〇年前は三八〇人。急激に生徒数は減っています。その原因は様々ですが主に以下のような点をあげる事ができるでしょう。

- ① 差別政策（経済的理由、報道、ヘイト、卒業後）
- ② 少子化
- ③ 民族性希薄、国際結婚、多様な価値観

#### (2) 財政状態

国庫からの補助は創立当初から今までゼロであります。その意味では〈高校無償化〉が朝鮮高校にも適用される意義はと

てつもなく大きかったのであります。しかし今は完全に朝鮮高校だけが外された形になってしまっているのが現状です。かつては地方自治体から少額(私立学校の一〇分の一程度)の補助金が出ていましたが今はそれすらも、高校無償化から外された時期と同じ頃に、〈市民感情〉などを理由にカットされてしまいました。

そんな中、千葉市は外国人学校地域交流費として五〇万円を一昨年から支給しています。千葉朝鮮学校が行う美術展と芸術発表会を(千葉市外国人学校地域交流事業)として認定し、そこに補助金を充てているのです。とても少額ではありますが、私たちが自らの運動を通して勝ち得たとても意義深い成果です。

それでもやはり補助金のない朝鮮学校の運営はとても厳しく、教員たちの給料が滞っているのが現状です。しかし同胞や卒業生たちによる一口千円募金運動などを通して、どうか自分たちの力で運営するために頑張っています。補助を受けられないといって閉めるわけにはいかないのです。特に教員たちはいま歯を食いしばって頑張っています。教員たちは皆、朝鮮学校の卒業生。教員たちがこのような極限状況の中、子供たちのために頑張れるのも、一人はみんなのため、みんなは一人のためを掲げる民族教育の賜物でありましょう。

### (3) 差別的状況

・闘い獲得してきた権利

私の学生時代はクラブ活動でも高体連などの日本の大会には出場できず、日本の大学を受けるにも大検が必要、定期券は大人料金でした。いまこれらは、完全にではありませんが一応は解決しています。しかしこれらは全て我々の先代たちが長い間、決してあきらめずに闘い続け獲得してきたものであって、政府や自治体自らが私たちに施しとしてプレゼントしてくれたものは一つもありません。権利は闘って勝ち取らなくてはならないという事。これは私たちが経験から学んだ大切な教訓なのであります。

・未だ残る数々の差別

朝鮮学校を円滑に運営していくうえにおいて、残る差別は未だ数多くあります。その代表的なものが先述した高校無償化から朝鮮学校だけが外されている問題や、国と地方自治体からの補助金をほぼもらえていない問題です。在日朝鮮人が日本人と同じだけ税金を納めているにも関わらずです。

### 四、なぜ保障されるべきか

#### (1) 施してはななく権利

国際人権規約、子どもの権利条約、人種差別撤廃条約などの国際的な条約や日本国憲法により、外国人にも基本的人権

（教育権）はもちろん適用されます。日本はこの朝鮮学校問題で国連より八度も是正勧告を受けているのです。

## (2) 歴史的背景

在日朝鮮人は自ら日本に渡ってきた一般的な外国人とは歴史的背景が異なります。朝鮮学校はあくまで植民地支配の結果として存在するというのが現実なのであります。日本にとって在日の教育権を保障するのは、過去清算の第一歩であり当然の責務でありましょう。

## (3) 日本にとって必要な存在

朝鮮学校は日本における多文化教育、国際化教育のモデルとなり得るのではないのでしょうか。そしてまた戦争や植民地過去を忘れぬための平和教育の現場として、その役割を十二分に果たすことができるのではないのでしょうか。さらに外国語教育や日本にとっての民族教育においても、朝鮮学校の経験は貴重な経験となり得るでしょう。何にせよ、異質なものでしょうが互いの経験から学び合うことは両者の発展過程において必要不可欠なことなのであります。

## 最後に

二年前から千葉では日本の人たちによる〈朝鮮学校を支える県民ネットワーク（略：千葉ハツキョの会）〉という団体が活動しています。交流会や学習会などを積極的にを行い、私た

ちの学校を積極的に支えてくださっているのです。ウリハツキョの子供たちに、君たちを応援してくれている日本の方たちがこんなにいるんだよと言ってあげられる事がとても嬉しいです。

朝鮮学校の女子生徒の制服は民族衣装であるチマチヨゴリです。しかし一五年ほど前から切り裂き事件やヘイトスピーチなどによって、現在は校内だけでしか着られないでいます。日本の街では民族衣装を着られないというのが実情なのであります。朝鮮学校女生徒の制服チマチヨゴリこそ、日本の国際化レベルを図り知る事のできるバロメーターといえるでしょう。

《炭鉱のカナリア》という言葉があります。坑内に持って行った鳥かごの中にいるカナリアの様子で、毒ガスの発生を知る事ができるように、この日本社会に人種差別や戦争の雰囲気that 充滿してきたとき、先に倒れるのは他でもないこの朝鮮学校なのです。朝鮮学校が元氣な社会は、マイノリティーも含めた皆が安心に暮らせる社会といえるのではないでしょう。日本社会において〈炭鉱のカナリア〉は、まさしく朝鮮学校なのです。そのようなすべての人にやさしい日本社会を共に作っていききたいと我々は切に願っています。

朝鮮学校ではどのような教育が行われているのか



会場の様子